

独立就農者育成（交付金型）研修の流れ

やまがた農業支援センターでは、農地や機械施設等の農業経営資産を持たない新規参入希望者を対象に農業研修をしています。

就農相談

センター窓口や「新・農業人フェア」等で相談に応じています。

農業短期体験

農業が本当に自分にあっているのか再確認する機会です。どんな作物をどこで栽培していくのかなどの就農のイメージをつくっていきます。

研修へ応募

就農相談や農業体験等を通して意志が固まった方は研修へ応募します。原則2月に募集します。就農時50歳未満の方が対象になります。

受入農業経営者の決定

希望する作物や地域、農業体験の結果などを踏まえて実際に研修をする農家・団体等を決定します。受入農業経営者はセンターにあらかじめ登録されています。（H31年3月現在71者）

農業次世代人材投資資金（準備型）申請

資金の交付申請に必要な書類を作成し交付主体の県に申請します。申請に関する準備会も開催します。

研 修

農場等での実践研修は受入農業経営者のもとで行います。また、定期的な集合研修も実施します。研修期間は概ね2年をめぐりにしています。